

- 問1 第二次世界大戦末期、日本国内で唯一、激しい地上戦が行われ、住民が巻き込まれる多大な犠牲が出た戦いを何という？
- 問2 1940年、日本国内の既存の政党を解散させて結成された、戦争遂行のための組織を何という？
- 問3 1941年、中国大陸や東南アジアへ進出する日本を阻止するため、石油の輸出を止める措置をとった国はどこですか？
- 問4 日中戦争から第二次世界大戦にかけて、日本が国家総動員のために経済を制限した政策を何という？
- 問5 1937年に始まり、当時の日本の軍事行動を長期化させることとなった中国との大規模な武力衝突を何という？
- 問6 19世紀後半、アメリカ国内の奴隷制をめぐる北軍と南軍が戦った内戦を何という？
- 問7 ナチスがドイツで権力を握った際、言論や思想の自由を奪い、すべての権力を一つの政党に集中させた体制を何という？
- 問8 1941年、日本がハワイの真珠湾に対して行った、相手に気づかれずに急襲する戦法を何という？
- 問9 日本が受け入れ、1945年8月15日の終戦につながった宣言を何という？
- 問10 関東大震災の影響で銀行の取り付け騒ぎが発生するなど、日本経済が大混乱した出来事を何という？
- 問11 1932年の五・一五事件で襲撃され、死亡したことで政党政治の終わりを象徴することとなった首相は誰？
- 問12 1940年、日本が枢軸国としての体制を固めるためにドイツ、イタリアと結んだ同盟を何という？
- 問13 ロンドン海軍軍縮条約は、二大政党が交互に政権を担当した何という政治体制の下で締結されたか？
- 問14 リットン調査団の報告書や満州国をめぐる問題に対し、日本が1933年に脱退を表明した国際機関を何という？
- 問15 1930年代から1940年代にかけて、日本がドイツやイタリアと結んだ連合勢力を何という？
- 問16 沖縄戦で日本軍の司令部が置かれ、激しい戦闘により破壊された城跡を何という？
- 問17 1929年のアメリカでの株価暴落をきっかけに世界規模で広がった深刻な不況を何という？
- 問18 1929年にアメリカの株価暴落をきっかけとして発生し、世界中に不況を広げた経済的な出来事を何という？
- 問19 1929年にアメリカから始まり、世界中に経済的な打撃を与えた現象を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 沖繩戦	1945年春、アメリカ軍が沖繩本島に上陸しました。軍隊同士の戦いだけでなく、避難先や戦闘現場に住んでいた「一般住民」が多く巻き込まれ、食糧不足や激しい艦砲射撃、自決などで多くの命が失われました。県民の4人に1人が亡くなったとも言われる悲劇的な戦闘でした。
問2	答え 大政翼賛会	1940年、近衛文麿首相の下で提唱された「新体制運動」の一環として、すべての政党が解散し、大政翼賛会が結成されました。これは政府と国民の間のパイプ役となり、軍部や官僚、産業界などが一体となって戦争協力を推進する組織でした。
問3	答え アメリカ	1941年、アメリカはオランダやイギリスと協力し、対日石油輸出を全面的に停止しました。これによって日本の戦争継続能力は深刻な打撃を受け、日本国内では資源確保の必要性が叫ばれるようになりました。
問4	答え 太平洋戦争	1941年12月の真珠湾攻撃によって太平洋戦争が勃発しました。この戦争はアジア・太平洋の広い範囲を戦場とし、莫大な人的・物的被害を出しました。
問5	答え 日中戦争	1937年、北京郊外の盧溝橋で起きた発砲事件をきっかけに、日本軍と中国軍との武力衝突が全面化しました。日本政府は当初「北支事変」と呼びましたが、戦闘は中国大陸の広範囲に及び、長期的な戦争状態となりました。
問6	答え 南北戦争	1861年から始まったこの戦争は、当時のリンカーン大統領による奴隷解放宣言などが大きな転換点となりました。激しい戦いの末、最終的に工業力に勝る北軍が勝利を収めました。
問7	答え 一党独裁体制	ナチスは、議会制民主主義を否定し、国民の支持を背景に権力を独占しました。ヒンデンブルク大統領の死後、ヒトラーは総統となり、他のすべての政党を禁止する「一党独裁体制」を完成させました。これにより、反対意見は弾圧され、国家全体がヒトラーの意向に従う形となりました。
問8	答え 奇襲	1941年12月、日本海軍はハワイの真珠湾に停泊していた米艦隊を、事前の宣戦布告なしに突然攻撃しました。これを「奇襲」と呼びます。この攻撃と同時に、日本はマレー半島など東南アジア各地への進攻も開始しました。
問9	答え ポツダム宣言	ドイツのポツダムで開かれた会議において、アメリカ、イギリス、中国が連名で発表したものです。日本軍の無条件降伏や、日本の民主化などを目的としていました。日本政府は当初これを受け入れるか迷いましたが、広島・長崎への原爆投下やソ連の参戦を受けて受諾を決定しました。
問10	答え 金融恐慌	政府はこの手形を整理しようとしたのですが、1927年にそれが国会で問題視されると、銀行が潰れるという噂が広まりました。その結果、多くの預金者が銀行に殺到する「取り付け騒ぎ」が起き、多くの銀行が倒産する金融恐慌に発展しました。
問11	答え 犬養毅	犬養毅は、憲政の常道を歩もうと努めた最後の政党内閣の首相です。1932年の五・一五事件において、海軍の青年将校らによって官邸で襲撃され、死亡しました。彼の死は、それまでの政党内閣による運営が不可能になったことを意味していました。
問12	答え 日独伊三国同盟	1940年に結ばれたこの同盟は、三カ国の連携を強化することを目的としていました。これにより、日本は欧米諸国との対立をさらに深めることとなりました。
問13	答え 政党内閣	ロンドン海軍軍縮条約が結ばれた1930年当時は、二大政党である民政党と政友会が交互に政権を担当する「政党内閣」が続いていました。浜口雄幸首相は民政党のリーダーでした。
問14	答え 国際連盟	満州事変後の日本に対し、リットン調査団の報告書を通して厳しく批判を行い、満州国の承認を拒否しました。これに反発した日本は、国際的な孤立を深めることを覚悟の上で1933年に脱退を表明しました。
問15	答え 枢軸国	1936年の日独防共協定や翌年のイタリアの参加を経て、三国は軍事的な結びつきを強めました。1940年には日独伊三国同盟が結ばれ、これら3国を中心とする勢力は「枢軸国」と呼ばれました。この同盟は、国際連合（当時の国際連盟）に対抗する性格を持ち、独裁的で拡張主義的な対外政策をとりました。
問16	答え 首里城	日本軍は沖繩守備隊として頑強な抵抗を行いましたが、当時の司令部が置かれた首里城周辺は激しい攻防の舞台となりました。砲撃により、首里城をはじめとする貴重な文化遺産が破壊されました。
問17	答え 世界恐慌	1929年に始まったこの不況は、銀行の倒産や工場の閉鎖を招き、失業者が世界中で溢れました。各国は自国の産業を守るためにブロック経済圏を形成しましたが、これがかって国際的な経済の分断を招きました。
問18	答え 世界恐慌	1929年10月、ニューヨーク株式市場での株価暴落を皮切りに、銀行の倒産や企業の破綻が相次ぎました。この混乱は世界各国に広がり、国際貿易の縮小や失業者の増加を引き起こしました。
問19	答え 世界恐慌	1929年、ニューヨークのウォール街で株価が暴落したことをきっかけに、世界的な大不況が始まりました。アメリカの銀行の破綻や企業の倒産が相次ぎ、その影響はヨーロッパや日本など世界中に波及しました。